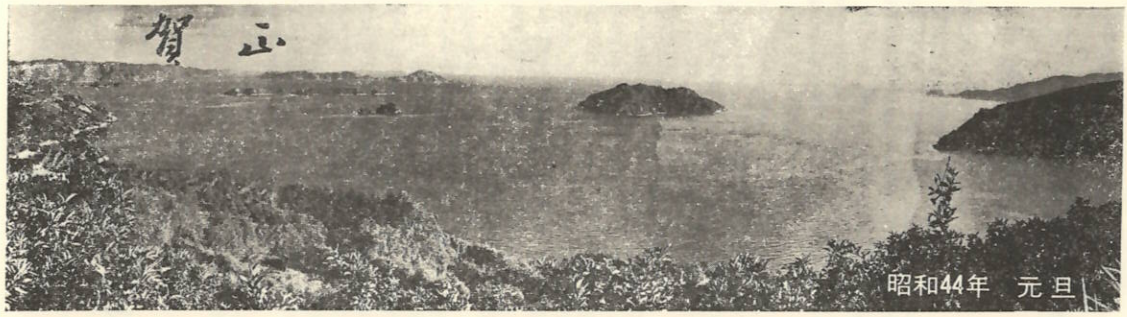
広報伊方町



新しい年を迎えた
宇和海の島々

東の空に静かに昇った太陽　海面はキラキラ輝き、まばゆいばかりの　新しい昭和44年のはじまり
ことしはとり年、大きく羽ばたき躍進の年です。　希望に満ちた発展する町づくり、
ゆるぎない将来にむかっての青写真が、ことしも槌音高らかに着々と進められます。

発行人
愛媛県西宇和郡
伊方町
編集
伊方町町民室
印刷所
尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話㊀0091番

"火の用心"
忘れず
任せず
油断せず

澄んだ青空の下 とんだりはねたり

壮年体力テスト

どんな環境にある人でも健康で、豊かな活動力をもっていることが大切であります。

壮年体力テストは、壮年層の人々が日常生活の基本となる体力のテストするもので、町でも昨年の十二月八日町見中学校グランドで行なわれました。

このテストには二十才から六十才までの壮年六十二人が三メートルおきにたてられた十本の赤旗棒をボールをつきながら交互にきりぬけるジグザグドリブルや腕の力をみる握力、瞬間的に強い力をだす垂直とび、敏しょう性の能力をみる横とび、千五百メートル急歩（女子の場合は千メートル）など五種目にわたって実施されました。

その結果、年令の別なく総体的に握力が強い反面、垂直とびなどが足腰のバネの弱さが目立ちました。

しかし、山仕事できたえている人だけあって大半が基準を上廻るよい成績でした。

地面をじっとにらみ、大きなモーションかけての垂直とび、うさぎのように左右にピョンピョンとぶ横とび、はじめてこころみる体操だけにみんな目を白黒させての大奮斗、でもねばりと根性でやりとおし、その結果、自分より十歳以上も若い体力である人もでて、思わずニッコリのご満悦！

特に女性の体力がすばらしく、三十八人のうち二十三人が基準点を越えママさん健在なのに対し、男性は二十四人のなかで基準点を上廻ったのは半数にも満たない十人で、男性の体力の劣えが目立ちました。

とかく最近は体位の向上がめざましい反面、体力が伸び悩んでいるだけに、これからはこうした体力テストの機会を利用して自分自身の体力年令をテストしてみましょう。

なかなかうまくボールが　はずんでくれません
＝壮年体力テストジグザグドリブル＝

ごあいさつ

町長　山本長松

輝やかしい昭和四十四年の新春を迎え、みなさまに心からおよろこび申し上げます。

町内のみなさんも、遠く町外でご活躍の方々も、新しい年を希望と抱負で楽しくお迎えのことと存じます。

明治百年の年を送り一九六九年の輝やかしい新生の年が始まりました。

「一年の計は元旦にあり」とか伊方町百年の将来を展望し町民のみなさんとともに行政施策を強力に進め、飛躍的な行政水準の年でありますよう、新たな決意のもとに諸施策を推進いたす覚悟であります。

ことしは、多年の懸案であります役場庁舎の建設を計画いたしています。

明るく能率的なそして町民のみなさんから親しまれる庁舎といたしたく、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

こんご町民各位のより一層のご支援ご協力をお願い申し上げ年頭のごあいさつといたします。

家庭に花を！

花と緑で美しく

一坪の空地でも、一鉢でも、花を育てることはいかに心のなごみと楽しみを味わうことができるかはかり知れないものがあります。

家庭における花作りには生活を豊かにし、心にゆかしさとゆとりをもたらします。

庭で眺め、飾ってみる楽しみは生命のある花だけに一段と価値があり、わたくしたちの生活にうるおいをもたらします。

四季折り折りの花、自然の美でまわりを飾りましょう。

年始「交通事故防止に
気をつけよう運動」

"期間……一月三十一日まで"

新しい年を迎えると新年宴会などお酒を飲む機会が多くなります。

お酒を飲んでの運転は交通事故のもとです。

事故をおこさないようみんなで気をつけましょう。

十 救急クイズ

火ばちのそばで突然倒れました。どうすればよいでしょう。

（答は二面に掲載しています。）

新しい民生児童委員

ことしの十一月三十日をもって任期満了となった民生児童委員につぎの方々が選任されました。

任期は十二月一日から昭和四十六年十一月三十日までの三年間です。

こんご、社会奉仕の精神をもって、保護指導のことにあたり、社会福祉の増進に努められます。

住所	氏名	再・新
大浜	山口　要	再
中之浜	葛城　光長	再
仁田之浜	道上　武敏	再
河内	上野　進	新
湊浦	政木　滝義	新
湊浦二	山神　朝光	再
小中浦	渡辺高十郎	再
中浦	上田　秀宏	新
川永田	吉川　重運	再
川永田二	川口　命教	再
豊之浦	渡辺　豊重	再
伊方	越井関　孝子	新
亀浦	田中ツマコ	再
奥向	二宮　泰慶	新
畑	堀内　三和	再
須賀	三根生真幸	新
西	高田　和之	再
久保	松田　長陸	再
二見	岩井　只介	再
加周	茅田　五郎	再
田之浦	玉井　進	新
古屋敷	井桜はまよ	再
大成	二宮　都子	再
鳥津	山田　吉敬	再

（敬称略）

年頭のごあいさつ

議会議長　竹場兼男

明けましておめでとうございます。

希望にみちた昭和四十四年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

順みまするに昨年はほぼ順調な天候に恵まれ、みかんの生産は史上最高といわれ、わが町でもまれにみる大豊作であったことはよろこびにたえません。

町議会の運営につきましては日頃より絶大なるご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

激しく流動する政治、経済情勢の中にありまして私たち町村自治にたずさわるものは常に、自らを反省し、姿勢を正し、更に良識を培い、町村自治の確立に努め町民各位の信頼に応えたいと決意を新ったにするものであります。

何卒旧倍のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

年頭にあたり町民の皆様のご多幸を祈念してごあいさつといたします。

議会議員（議席順）

竹場　兼男　米沢　彦志
佐々木　勝　二宮　頼志
中元　清吉　中川鏡太郎
高田　健一　菊池　彦光
兵頭宇三郎　菊池　武雄
大林　雅男　渡辺　菊義
樫尾　寛　茅田　一
黒田　市栄　高野　遠
明神　紀男
議会事務局長　岩井　正

（敬称略）

昭和四十四年の新春をむかえつつしんでみなさまのご健勝をおよろこび申し上げます

伊方町役場

町長　山本長松
助役　大本亀夫
収入役　域岡武夫
総務課長　武田庄松
税務課長　岡崎春長
民生課長　木戸五雄
保険課長　岩見正志
建設課長兼産業課長　兵頭熊一
水道課長　河野吉一
町民室長　脇田道
支所長　清水義久
農委会事務局長　井上鶴敏
職員　一同

伊方町教育委員会

委員長　栗田龍彦
教育長　井桜政勇
次長　林　鍛
給食センター所長　佐々木雄久
委員　職員一同

区長

大浜　宮藤広美
中之浜　二宮清久
仁田之浜　宇都宮豊一
河内　長野清邦
湊浦　梶谷幸三郎
湊浦二　戎　光造
小中浦　大通敬左エ門
伊方越　兵頭　保
亀浦　井上久康
中浦　阿部計邦
川永田　高月久夫
川永田二　松下義久
豊之浦　渡辺俊明
奥向　菊池文義
畑　下向唯雄
須賀　得能政春
久保　大橋陸男
西　田村武夫
二見　菊池八郎
加周　大野照数
田之浦　鳥津宇佐雄
古屋敷　二宮恒治
大成　古田利春
鳥津　佐々木善治郎
山田祐仲

成人と国民年金

天下晴れて一人前

社会人としての＝義務と権利を

成人式をむかえたみなさん、おめでとうございます。

二十才は人生の一つの区切りです。一人前の社会人となって何を考えますか。

大きな夢と希望を描いているみなさんには、自分の老後のことなど考えもおよばないことかも知れませんが、現実の問題として、いまから考えなければならない大切な問題なのです。

いま、日本人の平均寿命は何才だと思いますか、男六九才、女七四才で世界でも長寿国にあげられています。これからも、もっとのびることでしょう。

寿命がのびることはよろこばしいことですが、反面、大きな社会問題でもあります。いま、若い働ける人十人に、老人一人の割合ですが、昭和七十年には、若い人三人に老人一人という人口構造になるといわれています。

このことは、老人は若い人に老後の生活をみてもらうことがむつかしくなるということです。

そこで、若い働けるうちから老後の生活のために準備しておく年金制度がどうしても必要です。

国民年金は、このような時代の要求に応じる制度として、いま厚生年金なり、共済組合に加入している人は、国民年金に加入できません。

くわしいことは、役場または支所へおたずねください。

20才になれば　国民年金に加入を

投票には昨年、二十才になる人を選びだし、国民年金に加入しなければならない人かどうかを調べ加入しなければならない人に対して、加入の通知をしています。

しかし、、若い人は住所を変えることが多く、年金制度に対する関心が薄いことなども手伝って、なかなか届を出していただけませんから厚生年金なり、共済組合に加入している人は、国民年金に加入できません。

会社や工場に勤める人には厚生年金、船員には船員保険、公務員には共済組合といった年金制度がありますように農業や漁業に従事する人や商店の経営者、その従業員、あるいは開業医、無職といった人たちの年金制度が国民年金です。

国民年金制度の目的は、老後の生活保障はかりでなく、けがや病気をしたときの障害金、こ主人と死別したときの母子年金や寡婦年金あるいは、国家をなくした子どもの遺児年金など、いろいろな事故に対する所得保障もふくまれています。

国民年金ができました大きな意義は、この制度によって、日本は世界でも数少ない国民皆年金を達成した福祉国家であるということです。

国民年金は、これは日本人であれば、だれでも、どれかの年金制度に加入して老後や事故のときには、どれかの年金制度から必ずず年金を受けられるという意味です。

国民年金は、このような時代の要求に応じる制度として、いまばかりに、交通事故にあってひどいけがをしても年金が受けられないことのないよう、二十才になったら、必らず加入しましょう。

ただし、一度に二つの年金制度に加入することはできませんから会社などにつとめていて、すでに

ことしの成人者132人

成人式には質素な服装で

つぎに成人者名簿を掲載いたしましたが、この名簿は住民基本台帳より該当者を調査したものです。

このほかに該当する人、または町外より帰郷され成人式に出席を予定されている人は、町教育委員会まで早目に申込みください。

成人式は、成人の日にあたる一月十五日に行なわれますが、年を追うごとに成人者の服装が派手になり問題となっています。

町教育委員会では、質素な服装で出席するよう強く要望していますが、成人者全員がはなやかな飾り立てはやめるよう成人となった自から実行力を身につけましょう。

大浜（男八名　女十一名　計二〇名）
泉賢一、加藤喜代一、芝詩男、大黒八幡、谷藤賢一、天徳広敬、明神新平、山上一男、安村孝次、大黒富士江、谷藤律子、堀内恵美子、中藤トメ子、堀内恵美子、水本泰子、宮脇千代美、宮藤美恵子、向たき子、矢野真理子、山藤早子

中之浜（男四名　女二名　計六名）
菊池正文、飛田春樹、兵頭仁、三浦秀夫、門田リツ子、山口香代

仁田之浜（男二名　女三名　計五名）
松下芳正、渡辺喜久夫、畑中鈴子、田中むつ子、寺谷和代

河内（男三名　女四名　計七名）
上野修二、藤堂善広、松田金吉、菊池秀子、久保美美、藤堂かすの、松下澄子

湊浦（男三名　女七名　計一〇名）
稲田幹夫、木戸保、冨吉重正、池田幸栄、菊池文子、佐々木恭江、佐々木喜代、永井美紀、横本悦子、三好ふさえ

小中浦（男一名　女四名　計五名）
渡辺純一、石橋かほる、井上みち子、坂本さとみ、吉本はるよ

中浦（男八名　女一名　計九名）
足利勝世、井上芳清、中田長一郎、奥田光昭、田中利幸、松下清郎、矢野善平、梶田友好、福島初美

川永田（男八名　女九名　計十七名）
阿部喜久雄、宇都宮義治、上田満喜、大山治、梶谷多喜男、菊池加明夫、篠崎照治、山本貫一、阿部幸俊、小池やよい、篠川和江、篠川加代子、竹島豊代、中野広子、前田佳代、松田せつみ、吉川千代子

豊之浦（男一名　女五名　計六名）
高石俊行、井上テエ三、上田みどり、竹内ヒサ子、辻裕子、渡辺一美

伊方越（男一名）
神野敏

亀浦（女二名）
水政敏恵、宮内クミ子

奥（男五名）
大沢賢二、大沢康孝、城岡幸夫、城岡博秀、森元正敏

向（男二名　女三名　計五名）
川内和紀、下岡正成、堀内真由美、堀内幸恵、山内美保子

畑（男二名）
坪内光典、山口武美

須賀（男二名　女一名　計三名）
木村憲仁、米沢正文、橋京子

久保（男三名　女三名　計六名）
清家英純、松田和忠、松田三喜男、畑江松美、松田育子、松田なな子

西（女四名）
高木伊久子、高田恵千代、根来八代子、山田頃子

二見（男二名　女二名　計四名）
道上勲、山口保清、成本卓芭、山口昭子

加間（男三名　女一名　計四名）
茅田泰三、小林栄喜、鈴木賢夫、吉田由季子

田之浦（男二名　女二名　計三名）
吉田臨海、井上広実、竹嶋洋方

古屋敷（男二名　女二名　計四名）
池田武津司、池田五九雄、菊池ギン子、末光園代

鳥津（男一名）
鳥津利三郎

大成（男二名　女一名　計三名）
吉田征雄、吉田正、木村ミツヲ

《お茶の間メモ》

☆"やけど"に気をつけましょう

寒さがきびしくなると火を使う事もふえ、冬は、夏の二倍から五倍も"やけど"が多く、しかも五才以下のこどもの"やけど"が半数以上を占めています。

"やけど"は、高い温度のものにふれてもその時間が、瞬間的である時には意外に軽いこともありまた、比較的低い熱でも、長い時間ふれるとひどい"やけど"になることもあります。

とっさの手当ては、まず、水道の水をジャージャー流して"やけど"の皮膚をよく冷やし、バイ菌をつけないようにすることです。

よく"やけど"をすると、みそしょう油、天ぷら油、チンク油などを塗ることがありますが、油類は、かえって熱を蓄積させるほかバイ菌がついてうみやすく、あと残りやすいのです。

「こどものやけどは親の不注意」とよくいわれます。

"やけど"は直ぐより、やけどをしないよう、じゅうぶんご注意ください。

十　救急クイズ

（答）

☆まず窓をあけ放し、室内に外気を入れるか、風通しのいいところに運び、新鮮な空気を吸わせます

☆毛布でからだをくるむなど保温を心がけ、やむをえず運びだす以外は絶対安静をまもり、頭を低くしておおむけに寝かせ、医者を呼びます。

☆気がついたら、熱いお茶かコーヒーを少し飲ませ、からだを暖めます。

厚生大臣より感謝状

奥田さんら四人

長年、社会奉仕の精神をもって民生委員として活躍され、このたび退職された、つぎの方々に厚生大臣（八年以上在職者）ならびに町長（三年以上在職者）より社会福祉の増進に尽した貢献にたいし感謝状がおくられました。

◎厚生大臣感謝状

奥田　泰三（中浦）
神野キクコ（伊方越）
城岡　松行（奥）
志賀トモエ（田之浦）

◎町長感謝状

大森　春茂（河内）
三好玉一郎（湊浦）
谷村八左ヱ門（畑）
（敬称略）

町更生金庫へ二千円

商工会青年部

伊方町商工会青年部では、町内に居住する被保護世帯および要保護世帯の自立更生のため役立てるようにと町の更生金庫へ二千円寄贈されました。

昨年につづいての善意、紙上より厚くお礼申し上げます。

人

昭和43年11月末現在
世帯数　2,455戸
人口　9,867人（男 4,749人　女 5,118人）

婚姻

昭和43年11月1日
11月30日

出生

昭和43年11月1日
11月30日

死亡

昭和43年11月1日
11月30日

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、各ご家庭では清閑な気持でことしの計画をたていよいよ実行にむかって船出です。とくにことしは記念すべき明治百年を経た第一歩であり、とり年にちなみ大きく羽ばたいて更に躍進する年でもあります。

毎月発行いたしております広報も今回で一〇三号を数えるにいたりました。町民のみなさんに親しまれる紙面にとこんども努力いたす所存であります。

ことしも何卒よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。みなさんの意見を拝聴し、広く親しみのもてる紙面に育てたいと思います。

また、町外に就職され活躍されている方々で広報を送ってほしい方は役場町民課まで申し出てください。毎月本人宛送付いたします。